

早稲田大学 博士（日本語教育学） 学位申請 研究業績書

氏 名 三上京子

(2006 年 12 月 15 日 現在)

学位論文

1. 日本語教育におけるオノマトペ指導の現状とその課題
——日本語教育基本オノマトペの選定と指導への試み——
2003 早稲田大学大学院 日本語教育研究科修士論文

学術論文

1. 三上京子：2003 日本語教育におけるオノマトペ指導の現状と方策，第7回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム 報告・発表論文集，pp. 254-261
2. 三上京子：2003 上級教材に見られるオノマトペ —統語的特徴の分析と指導の観点—，早稲田大学日本語教育研究 第2号，pp. 193-209
3. 中尾桂子，白海燕，三上京子，湯浅章子：2003 「擬音語」と「擬態語」の境界と認識の差異 —インドネシア語・朝鮮語・日本語の対照から見たオノマトペ—， Kansai Linguistic Society PROCEEDINGS OF THE TWENTY-SEVENTH ANNUAL MEETING， pp. 84-94
4. 三上京子：2004 多義オノマトペの意味・用法の記述と指導の試み —「ごろごろ」「ばたばた」を例として—，小出記念日本語教育研究会 論文集 12， pp. 63-77
5. 三上京子：2005 初級から教えるオノマトペ —基本オノマトペの選定とその教材開発に向けて—，第9回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム 報告・発表論文集， pp. 163-168
6. 三上京子：2006 日本語の擬音語・擬態語における意味の拡張 —痕跡的認知・予期的認知の観点から—，韓国日語日文学研究 第57号1巻， pp. 199-217
7. 三上京子：2007 日本語教育のための基本オノマトペの選定とその教材化，ICU日本語教育研究，(印刷中)

その他

《学会発表》

1. 三上京子：2002 日本語教育におけるオノマトペ指導の現状と方策，第7回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム
2. 三上京子：2002 日本語オノマトペ指導に関する研究，日本語教育方法研究会，Vol.9 No.2 2002，pp. 4-5
3. 三上京子：2003 多義オノマトペの意味・用法の記述と指導の試み —「ごろごろ」「ばたばた」を例として—，第12回小出記念日本語教育研究会 予稿集，pp. 42-47
4. 三上京子：2004 初級から教えるオノマトペ —基本オノマトペの選定とその教材開発に向けて— 第9回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム
5. 三上京子：2004 日本語教育における基本オノマトペの選定に向けて，2004年度日本語教育学会 秋季大会予稿集，pp. 135-140
6. 三上京子：2005 日本語の擬音語・擬態語における意味の拡張 —痕跡的認知の観点から—，韓国日語日文學會 —発表論文集—，pp. 105-108

《WEBサイト コンテンツ作成》

1. 三上京子，国府田晶子，高橋悦子：2003-2006，e-Japan 日本語・日本文化情報の発信「擬態語・擬声語 Webサイト」，国立国語研究所，<http://jweb.kokken.go.jp/gitaigo/index.html>